

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年2月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676300108
法人名	医療法人 愛誠会
事業所名	ふれあいの家 おじゃったもんせ
所在地	鹿児島県曾於市大隅町中之内8842-24 (電話) 099-482-4398
自己評価作成日	平成27年1月5日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年2月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

この地域では、唯一民家を改修型のグループホームで、静かな住宅街に位置している。
介護福祉士の資格取得者が6名配置されている。他、同じ法人の訪問看護ステーションとの連携による週1回の健康チェックと24時間のサポート体制や主治医による月2回の定期往診、STやOT必要に応じ訪問等あり、利用者の生活が安心、安全に送れるように専門性の高いチームケアが行われている。現在は、利用者の自立支援にも力を入れ、残存能力を活かし、自分でできる事は自分でして頂くように心がけています。ご家族との連携にも力を入れており、屋外活動や、交流会を開催し交流を深めています。また、地域行事への参加も行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

民家を改修して平成8年に開設された当ホームは、住宅街に位置し、違和感なく周囲の環境に溶け込んでおり、ホーム全体が家庭的で、落ち着いたのどかな雰囲気である。
母体医療法人の協力のもと、日々の健康管理や相談・対応など24時間の医療連携体制が整備されており、法人系列の介護老人保健施設や訪問看護ステーションなどとの重度化や終末期における看取り体制も確保されている事は、利用者、家族の大きな安心に繋がっている。
介護計画作成時には、家族の援助計画を作成して家族も共に利用者を支えていけるように家族の出来る事や、してあげたい事をプランに反映させる取り組みを行っている。定期的な家族面談を実施しており、利用者の状況をより詳しく理解してもらい、意見や要望を言い易くする工夫をし家族との信頼関係も築いている。
職員は有資格者が多く配置されており、言葉に表せない入居者の思いや意向の把握に努め、利用者がより良く生活出来るよう前向きに取り組む姿勢が伺える。開設19年目を迎え、地域住民からも温かい目で見守られる存在になっており、実績を活かした安らぎのあるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ゆっくり一緒に地域生活を楽しむという理念を掲げ、地域の中で利用者がスタッフと一緒に安心、安全に生活していただくという意識をスタッフが共有している。	利用者が地域と関わりながら、その人らしく生活できるように「ゆっくり一緒に地域生活を楽しむ」の理念を掲げ職員全員で意思統一を図り日々のケアに努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域民生員、自治会長が隣に住んでおられ、日常的に会話を行っている。運営推進委員会を通して地域の方々との交流も図り、地域清掃も職員が参加している。12月は、地域の方々とは餅つきも行った。	自治会長を地域とのパイプ役としホームの紹介や地域の情報収集に努めている。地域の一員として清掃活動や総会に参加したり伝統行事やイベント見学にも出かけている。ホームの避難訓練には近隣住民の参加も得られており地域に受け入れられた施設として双方で良好な関係を築いている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	近隣の方々と日常的に会話を行い、気軽に立ち寄れる環境にも務めている。運営推進会議の中でも高齢者介護、感染予防など勉強会も開催している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の目的や意義は浸透してきており率直な意見も頂いている。そのことをミーティング等で報告し、議事録に目を通すようにしている。10月の運営推進会議では、火災を想定し避難訓練を実施し地域との連携を確立する事ができている。12月は、クリスマス会及び運営推進会議同時に開催し、利用者、家族地域の協力員との交流を兼ね意見交換など行う。</p>	<p>地域のアドバイザー、家族、行政、他の関係者の参加を得て定期開催である。避難訓練では地域住民には見守りの割役を依頼しており、協力体制が確立している。奥まった居室からすぐに庭に避難できるように畳の部屋の壁をドアに替えるなど意見やアドバイスを反映している。訓練や行事と合わせて行う事で、運営推進会議がより意義のある内容になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	曾於市GH小規模多機能の会に参加し意見交換を行ってる。又、サービス提供における不明な点等あった場合は、担当に相談している。	相談や報告以外でも運営推進会議を通じて、ホームの実情や様子を視て貰っており、双方で情報交換を行い、連携を深めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関するマニュアルを作成し所属ミーティングでの研修や法人主催の研修にも参加している。研修参加者は、内容を報告し職員への周知徹底を図っている。その中で日々のケアの振り返りを行っている。	法人主催やホーム内での研修を行い、職員は、常に身体拘束に於ける弊害を理解し意識、知識を持ったケアに努めている。夜間帯以外は玄関の鍵はせず、外出傾向の利用者に対してはさりげなく、職員が付き添うなどの対応で見守りを重視し、抑制のない自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	所属ミーティングにおいて高齢者虐待防止関連法についての勉強会を開催している他、日々の業務の中で虐待に繋がっていないかなど検討を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人制度を利用されている利用者はいないが、ミーティングにおいて、権利擁護や後見人制度に関する研修を実施している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用契約、改定時は、御家族様との面談を行い、サービスの内容、利用料、緊急時の対応、利用者情報等十分に説明を行い、納得していただいでから署名捺印を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	いつでも気軽に何でも話しやすいような雰囲気作りを心がけており面会や、面談など率直な意見、要望を聞きその内容をカンファレンスにて検討している。いつでも対応できる様に玄関に意見箱も設置している。	年2回の家族会や通常的面会時などの機会を意見や要望の聞き取りの大切な機会にしている。日頃より、利用者の密な状況報告や話し合いの場を設け、いつでも気軽に相談や要望を言い易い雰囲気作りに努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回開催される、ミーティングの中で検討している。事前に担当者との会議打ち合わせを行っている。	朝夕の申し送りで職員間での情報共有を行っている。毎月、全員参加のミーティング時に出された意見や提案は都度、検討されサービスに反映されている。有資格者の配置も多く研修も充実している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の能力、実績、勤務状況に合わせ個々にあわせ責任ある業務を任せている。その中でやりがい等に繋がるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人教育委員会による研修制度が確立されており、職員が積極的に参加できる環境を整えている。又、新入植者に関しては、基本的な介護が習得できるように法人内施設実習を経てから配置となっている。新人、1年目～3年目までシュミレーションを通し介護技術に繋げている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>曾於市グループホーム、小規模多機能会に参加し地域の同業者との情報交換やサービスの質の向上に取り組んでいる。又、同事業所との交流も行うように心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人、御家族様への聞き取りによる実態調査を行い、趣味、仕事生活習慣（生活歴）を把握しそれに基づいたケアを心がけている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>十分な実態調査を行い、家族の要望等に基づき、対応、ケアを実践し不安解消に繋がるように心がけている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>グループホームでできる支援の中で、本人様が必要な事を考慮して対応を行うようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>理念「ゆっくり、一緒に地域生活を楽しむ」を念頭に置きケアの実践を心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人、御家族様への聞き取りによる実態調査を行い、趣味、仕事生活習慣（生活歴）を把握しそれに基づいたケアを心がけ時には、家族の協力を頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	実態調査を行い、家族の要望等に基づき、対応、ケアを実践し不安解消に繋がるように心がけている。自宅にスタッフと訪問したりし、近所の方と交流も）行うように心がけている。	友人、知人の来訪や、家族が墓参り・馴染みの美容室へ連れて行く利用者もいる。職員がドライブがてら自宅を訪問し、馴染みの知人との交流の機会や遠方の方との手紙のやり取りなどを通してこれまでの関係継続の支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	グループホームでできる支援の中で、本人様が必要な事を考慮して対応を行っている。自立支援の声掛けを行う中で利用者同士が協力し生活されている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や、他施設に行かれた際は、面会に行き、コミュニケーションを図るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者を受け持ち制にし日々の生活の中で少しの変化にも気づけるようにし状態観察を行い経過記録、申し送りノートへ記載し情報を共有化しカンファレンスにおいてケアの統一を図っている。	利用者を担当制にする事で、より密な状態観察が出来、記録や申し送りノートを通して情報の共有を図っている。把握が困難な利用者には表情や所作から汲み取り、本人の意思を尊重した支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	CMからの情報収集やご家族様、本人様との面談を行いバックグラウンドアセスメントを作成し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方や、心身の状態を記録し、現状把握に努め、全職員にメール発信し情報を共有化している。日々の業務の中で、話し合いしケアの方向性を検討している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランの見直しは3ヶ月に一回評価を行い、それに基づいたカンファレンスによる見直し、変化があった場合は、その都度を行っている。家族面談にて家族の同意を得て検討した内容をプランに随時記載し現状に応じたケアを提供している。	利用者毎に担当制を設け、利用者情報を密にとり職員全員で共有し、意見を出し合い介護計画を作成している。家族の援助計画として、家族が出来る事、してあげたい事も聞き取り、プランに反映し個別性のある介護計画になっている。定期的見直しと状態変化などの都度の見直しをすることで、現状に即した計画になるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>経過記録や、日誌に記載し職員間の情報の共有化を図り、日々のケア提供や、介護計画書に結び付けている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>医療連携体制があり、週1回訪問看護の定期訪問や月2回の往診が行われている。緊急受診、定期受診時は、スタッフも同行し支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>老人保健施設で開催される大きな行事に参加しているほか地区の行事への参加を行い、交流を図っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>受診や通院は、希望に応じて随時対応を行っている。協力病院のほか、眼科受診等入居以前からかかりつけ病院を受診できるようにしており、その際は、家族が同行しているができない場合、緊急時の場合はスタッフが対応している。</p>	<p>協力医療機関の主治医の定期的な往診や訪問看護による密な健康管理が行われている。他科受診については入居前からの本人、家族の希望の受診を支援しており、受診は家族主体だがホームも同行支援をし診療内容の把握をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院の地域連携課や訪問看護との連携体制があり24時間いつでも必要な時に看護が受けられる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>協力病院との連携があり、入退院時にはお互いに情報提供を行っている。又、入院時には、スタッフが定期的に面会に行き、本人様の状況把握、病院側からの情報を元に精神的安定を図り早期退院を目標としている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人の状況に応じて、御家族様、主治医、運営者、管理者、職員と定期的相談が行われており情報の共有化が図られている。又、状態変化があった場合は、その都度話し合いを行い方針の確認が行われている。</p>	<p>入居時に、家族には重度化や終末期について母体である医療機関を中心に法人全体で支援していく方針を重要事項説明書に明記し説明と同意を得ている。状態変化の都度、家族の意向とホームとして対応できる最大限の支援内容を話し合い、同じ方向性で支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応のマニュアルが作成されており職員への周知徹底を行いミーティング等で研修を行っている。法人内の研修にも参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マニュアルの周知徹底とミーティングでの研修、年2回避難訓練を実施している。実際の火事を想定し消防署との連携、火災報知機を实际使用している。	定期の年2回の避難訓練の他に、通報訓練として、通報が行き渡るまでの時間把握をはじめとした自主訓練も毎月行っている。関連施設や地域住民との協力体制も築かれており、利用者の安全対策に万全を期している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に尊厳を持ち接し会話の内容や、言葉使いに気をつけている。個人情報保護に関する法人の研修に参加している。マニュアル等も作成している。	職員は日頃より声のかけ方や言葉遣いに気を配っており、トイレ誘導時など羞恥心へは特に配慮したケアに努め、信頼関係を大事にした支援を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話のできる利用者様へレクリエーション参加や自己決定を行えるよう配慮している。又、意志疎通の図れない方々へは、好きな歌や、家族の話をお伝えし表情の変化から思いを汲みとる努力を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のだいたいの流れはあるが、個人の希望する過ごし方ペースを大事にし、安心、安全に過ごしていただけるよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	イベントや、行事、又本人が希望する際は、本人の好まれる色の衣服を選び、また整容の時間を大切にしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事形態は一人一人に合わせている。又、味付け等にも注意し薄味でだし等で味の調整を行っている。食事は、職員と一緒にできる様にしている。	季節に応じて秋刀魚の炭焼きや、鍋料理、行事食などで時季を感じられる食事を提供している。毎日、人参、米ぬかや他の野菜で作る特製ジュースは利用者の健康増進に繋がっている。食器洗いや皮むきなど、張り合いを感じられる様にケアプランにも組入れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ケアチェック表にて食事、水分摂取を記録している。管理栄養士に年2回評価、栄養指導を行っている。体重測定、血液検査にて必要時Drの指示を受けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者様に声かけを行い状況に応じ一部介助、全介助にて毎食後義歯、口腔内洗浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者個人の排泄パターンを把握し身体機能に配慮した援助を行っている。介助、一部介助は自立支援に基づいたトイレ誘導、個々にあったオムツの種類を選択している。	日中は仕草や習慣、排泄のパターンの把握に依る誘導でトイレでの排泄が苦痛にならないように身体機能に合わせた支援をしている。自分で排泄のチェックが出来る自立した利用者もおり、現状維持や改善に向け取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取、野菜等繊維物を提供を心がけている。トイレ誘導時は、腹部マッサージを行い便意を促している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者の体調、状況を考え楽しめる入浴となるように支援している。一日の中で入浴の時間をこだわらずタイミングにあった入浴の声かけを行っている。入浴日以外は足浴実施している。	週2回の入浴回数を決めているが希望や要望で柔軟に対応している。ためらう利用者には声掛けや職員を替えたり、翌日に回すなど無理強いせずに入浴が楽しみな時間になる様に支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各利用者の生活パターンを優先し午後からそれぞれ仮眠時間を設けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を個別に管理しファイリングしている。往診時、内服薬変更時は、他職員へ情報を発信し共有化を図っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴を把握し、生きがいある生活が怒れるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の体調、状況に応じて散歩や、買い物、友人への面会に一緒に行っている他、方々もテラスでの日光浴を実施している。	利用者個々の身体状況や気候に応じてホーム周辺の散歩や買い物、ドライブに出掛け気分転換をしている。関連施設のイベントや地域の伝統行事の見学など、折にふれ家族の協力も得ながら外出の機会を多く持つるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の希望や体調に合わせて買い物など実施している。商品選び、支払い、可能な限りご自分で行っていただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>御家族が用意してくださった携帯電話を使い本人自ら電話をかけている方もいらっしゃるが電話対応が難しい方が大半で必要時は、スタッフが家族へ掛けてつなぐようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>事業所内には、家具やソファ等使用し自宅と変わらない雰囲気になるようにしている。共有部分は季節感を感じれるように四季の物を飾ったり思い出の音楽を流したりし工夫を行っている。テラスにて外の光や風に当たりながらお茶、おやつを提供し楽しめるようにしている。</p>	<p>リビングの楕円形大型テーブルは利用者と職員の憩いの場である。台所の調理の光景や音や臭いからも家庭の雰囲気を感じ取れる。適所にソファが配置され利用者に合わせた足載せの設置の工夫もある。テラスに出て菜園や四季の花木を眺めたり、外気浴を楽しめる環境であり、室内外共に利用者は家庭的な雰囲気の中でゆったりとした時間を過ごせている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>縁側付きの和室があり希望時には使用出来るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者の馴染みの家具や衣類のほか家族の写真等多数持ちこまれており使い慣れたものや好みの物を持ちこみ自宅と変わらない雰囲気になるように心がけている。	フローリングや畳の部屋など利用者の身体状況に適応した居室になっており、トイレの設置もあり、プライバシーに配慮している。マッサージ機や三味線、家族写真など個々の馴染みの深い物を持ち込んで安心して過ごせるプライベート空間である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の馴染みの家具のほか家族の写真等多数持ちこまれており使い慣れたものや好みの物を持ちこんでいる。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1	ほぼ全ての利用者の
		2	利用者の2/3くらいの
		3	利用者の1/3くらいの
		4	ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1	毎日ある
		2	数日に1回程度ある
		3	たまにある
		4	ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ全ての家族と
		2	家族の2/3くらいと
		3	家族の1/3くらいと
		4	ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ毎日のように
		2	数日に1回程度ある
		3	たまに
		4	ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1	大いに増えている
		2	少しずつ増えている
		3	あまり増えていない
		4	全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない